



庶民の会
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

新型コロナウイルス感染症

Q 感染予防しながら安心・安全をキーワードに、経済活動を行っていかねければならないと考えるが、本市の経済の現状と終息が見えないコロナ禍との向き合い方について。

A 宿泊は県の支援もあり一部持ち直しているが、飲食業、サービス業も含め非常に厳しい状態にある。感染拡大防止と併せてアフターコロナを見据え、市民生活の支援と地元経済の回復に向け取り組みたい。

Q テレワーク、ワーケーションによる交流人口、関係人口拡大の可能性については？

A 市所有の古民家をワーケーション施設として活用し、県内外からの関係人口の拡大を図り、移住定住につなげる施策を検討している。

GIGAスクール構想

Q ICT環境と推進体制について。

A 一人一台の端末整備は本年度で整備し、運用は本年度末から来年度初めになるので、しっかりと整備したい。

Q 負担が大きくなる教職員のサポート体制について。

A ICT教育を推進する支援員を増員し、サポート体制を整えたい。

Q セキュリティー対策について。

A フィルタリングソフトも導入し、児童生徒が問題のあるサイトに接続しないよう対応していきたい。

高潮対策と広馬場下埋立地の利用

Q 白水川への排水口から海水が逆流してきていると思われるので、開閉弁の設置ができないのか？

A 排水口の蓋がなくなっているとところがあるので、地元消防団や自主防災会等と協議をし、併せて開閉弁の設置ができないか、県へ要望を行う。

Q 広馬場下埋立地は、地域コミュニティの活性化を図れるような利用計画に。

A 高潮だけではなく、火災や地震の一時避難場所としての利用、平時は多目的防災広場としてさらなる活用ができないか、意見を聞いて検討したい。

【その他の質問項目】

◇コロナウイルス感染症の検査体制について

◇GIGAスクール構想 (OSについて)

◇在宅学習での利用について

◇小児科・病児保育施設の持続可能となるような支援について



新風会
うへだ よしさだ
上田 義定 議員

コロナ・7月豪雨の本市経済への影響

Q 農業へのコロナの影響は。

A 外食産業の低迷により和牛枝肉価格が下落している。花きもイベントの中止や冠婚葬祭の縮小などでキクや洋ラン等の需要が減少し、落ち込んでいる。

Q 漁業へのコロナの影響は。

A 外食産業の需要低迷と併せ、都会への高級魚の流通が停滞し、出漁を見合わせる漁業者もいた。島原漁協の5〜7月の水揚げ金額は、前年同期と比べ、ヒラメやガザミが約6割、クツゾコが約4割まで減少している。

Q 7月豪雨によるアワビ養殖への被害について。

A アワビ死滅の被害額は1480万円。新田町の被災した陸上養殖施設は老朽化しており、島原漁協役員会で稼働しないことを決定された。

漁協では三会の第2養殖場で養殖量を拡大し生産を継続する方針であり、取水環境の向上改善と併せ、種苗購入経費に対する支援の要望があった。

Q ホテルの稼働状況は。

A ホテルの宿泊者数の対前年同月比は3月が48%減、4月が71%減、5月が77%減と大変厳しく、多くのキャンセルにより営業規模の縮小や臨時休業など経営に大きく影響した。全国の緊急事態宣言解除後は県の誘客キャンペーンや本市のふるさと応援旅行券発行などにより6〜7月は各28%減と少しずつ回復していたが、再び感染拡大で厳しい状況。

コロナ禍の教育

Q 小中学校で偏見防止の教育は行なっているのか。

A 全国的にコロナ感染が始まった3月から児童生徒の人権を守るよう指導してきた。今般の情勢に鑑み、文部科学大臣から児童生徒・教職員・地域の皆様へと発せられた緊急メッセージ等を利用して再度、指導するようにしている。